2022年度の事業目標

１　徳島とも暮らしの家が三年を経過したところで、これまでの入居状況と内容をまとめ、三年間に果たした役割について振り返る。

２　がん患者の療養支援事業の傾聴活動の会場を徳島とも暮らしの家に変更し、継続する。開催場所をこのまま継続するかどうか年度末に判断する。

３　ケアボランティア講座のカリキュラム内容を前年度受講者のアンケート調査を参考にして、精査する。

４　訪問介護事業の安定運営と質の担保のために、介護職員の人材確保に引き続き務める。